

Newsletter



No.43 1992. 11. 20

事務局：〒141 東京品川区大崎 5-6-2 産能大学内

日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL03-5487-8864

日本教育情報学会 第9回年会のご案内（第1報）

－研究発表の募集－

日本教育情報学会 第9回年会は、来年8月に十文字学園女子短期大学を会場として、下記のとおり開催いたします。今回の開催第1報は研究発表の応募に関するご案内とします。下記要領をご熟読の上、期限内に手続きくださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

期日 平成5年8月2日（月）・3日

会場 十文字学園女子短期大学

〒350 埼玉県新座市菅沢2-1-28

（電話） 0484-77-0555

日程

平成5年	8月2日（月）	8月3日（火）
10:00-12:00	一般研究発表	課題研究発表
12:00-13:30	昼食・評議員会 総会	昼食・理事会
13:30-17:00	一般研究発表 課題研究発表	講演・実演

1 課題研究発表

(1) 課題研究発表の「課題」

課題研究発表として、次の2課題を設定しました。

[課題1] マルチメディア学習の実践・効果

[課題2] 通信衛星の教育利用

(2) 各「課題」の設定の趣旨

[課題1] マルチメディア学習の実践・効果

マルチメディア学習とは、コンピュータを用いて文字・図形・画像・音声という4つのメディアを処理したり制御したりして進める学習のことです。マルチメディアは文字図形・画像・音声をすべて使えることが基本になっていることから、従来のCAIのような文字と図形だけを使用する学習ではなく、映像（静止画や動画）や音声を使うことがその特徴といえます。

具体的には、ソフト面ではハイパーメディアを使うことができます。ハイパーメディアは非線形経路による複雑な構造のコース設計が容易に作成できるため、学習者の個性や能力に対応した学習が可能で、また、ハード面ではGUI（Graphical User Interface）を使うことができます。マッキントッシュ機で用いられてきたGUI環境がマイクロソフトのDOS型のパソコンでもWindowsによって本格的に用いられるようになりました。キーボードによるコマンド入力主流の従来の方法に比べ、グラフィックスを用いたマウス操作ベースのGUI環境は、機械が人間に近づいてきたものとして学習では重要な意味を持つといわれています。

このようにハイパーメディアのソフト環境やGUI環境によるマルチメディア学習は、本格的な自主学習を可能にするものとして期待されています。学習効果のあがる実践例の発表を期待しております。

[課題2] 通信衛星の教育利用

通信衛星を利用した遠隔地間の通信ネットワークによる教育は、企業・予備校・大学・専門学校等で行われております。文部省放送教育開発センターでも通信衛星を利用した「社会人技術者再教育実験」を開始し、注目されております。また、文部省では財団法人学習ソフトウェア情報研究センターに委託し、通信衛星を用いた双方向の遠隔教育の試行実験を行いました。

このような通信衛星を利用した双方向遠隔教育は、今後進展が見こまれますので、企業・予備校・大学・専門学校等の実践例の発表の場といたします。

2 一般研究発表

(1) 研究対象

小・中・高等学校，短大・大学，専門学校，企業，
生涯教育

(2) 研究分野

教育情報，メディア（マルチメディア，ハイパーメディアを含む），
C A I，C M I，ツールソフト学習，シミュレーション学習，情報検索学習，
情報教育，情報処理教育，視聴覚教育，教育用ソフトウェア，学習ソフト開
発，教材開発，システム開発，データベース，パソコン通信，教育情報ネッ
トワーク，ヒューマンインタフェース，教育評価，授業分析

3 研究発表応募の方法

(1) 研究発表申込期限

平成5年3月31日

(2) 申込方法

同封の「年会研究発表申込書」に必要事項を記入の上，申込期限までに「学
会事務局」へ送付してください。

なお，講義者（当日の登壇者）は正会員（専門会員及び専門会員の推薦を受
けた一般会員）に限ります。現在会員でない方も，平成5年7月19日（月）
までに入会の手続きをとれば，講演者になることができます。

(3) 申込先

〒141 東京都品川区大崎5-6-2 産能大学内
日本教育情報学会 運営本部事務局
(電話) 03-5487-8864

(4) 申込書記載方法

① 申込書は，研究発表1件について1枚とします。

② 講演者となることができるのは1人で1件だけです。

ただし，課題研究と一般研究を重複して，それぞれ1件ずつ申込みことが
できます。

③ 研究発表1件についての発表者は何人でもかまいません。

しかし，講演者は1件について1人とします。

講演者以外の発表者は，共同発表欄に記入してください。

④ 発表の希望セッションは、第1希望と第2希望を選んで記入してください。

(5) 発表の連絡

応募者には、審査の上、年会実行委員会から平成5年5月15日(土)までに発表の可否を連絡するとともに、発表を可とされた応募者には、「年会研究集録」の原稿用紙及び執筆要領をお送りします。なお、原稿枚数は、2枚または4枚とします。(原稿用紙1枚は刷りあがり1ページに相当し、1500~2000字入ります。)

○ 原稿提出期限 平成5年7月4日(日)

この日付の消印のあるものまでを「年会研究集録」に掲載します。

(6) 講演・実演の予定

年会第2日(8月3日)の午後は、講演と実演を行います。その内容は、マルチメディアの教育用ソフトウェアの典型ともいうべきものを具体的に示して、今後のマルチメディア教材の方向性を示す予定です。

(7) 年会研究発表に関する問い合わせ先

日本教育情報学会運営本部事務局

年会費の支払いについて

本年度の年会費の支払いがまだお済みでない方は、至急手続きを取っていただくようお願いいたします。本学会は、会員の皆さんからの会費によって運営されています。学会の発展のためにも、主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。10月末現在、会費未納の方には、振込用紙を同封させていただいておりますのでよろしく申し上げます。

また、知り合いの方で本学会の活動に興味のある方がいらっしゃいましたら、お知らせください。事務局より案内書を送付させていただきます。